

熊本県城南家畜保健衛生所

〒868-0042 人吉市蟹作町 1237-1

TEL : 0966-22-3814

EMAIL : jounankaho@pref.kumamoto.lg.jp

今年の夏は、例年にも増して暑熱対策に取り組みましょう！

昨年の人吉球磨・芦北地域の豪雨災害から一年以上経過しました。全国からの御支援に支えられ着実に創造的復興の道を歩んでいきたいと思えます。

8月8日から県内に適用されました新型コロナの感染拡大に伴う2度目の「まん延防止等重点措置」について（今月31日までの予定）は、人の生活行動の制限はもちろん、酷暑の中でのマスク着用等から、熱中症に陥る危険性が益々高まっています。昼間の暑い時間を避け、朝夕の比較的涼しい時間帯に作業を行い、熱中症から身を守ってください！

家畜における暑熱対策について

1 畜舎環境面からの暑熱対策

1) 畜舎外

- ① 屋根への石灰乳の塗布（写真）、散水
- ② スプリンクラーの設置
- ③ 寒冷紗、（放牧場での）庇陰林の設備

2) 畜舎内

- ① 送風機の設置 ・ミスト

2 畜体への暑熱対策

- ・毛刈り ・流水 ・除湿

※現場での注意点

- 1) 温湿度計を設置して現状を知る。（安価な温湿度計が多く出回っているので、できるだけ表示が大きなものを準備する。）

例：気温30℃、湿度80%の場合

$24 + 0.8(15.7) + 46.3 \div 82 = \text{THI}$ 暑い

- 2) インバータの作動温度をチェックする。

- 3) 暑熱期以外の暑熱対策。



写真提供：農水省

※温湿度指数 (THI)

$: 0.8T + 0.01H (T - 14.3) + 46.3$

T=温度 (°C)、H=相対湿度 (%)

THI	< 72	快適
THI	73~79	やや暑い
THI	80~89	暑い
THI	90~98	厳しい暑さ
THI	> 98	危険

臨床獣医 2005.07 より引用

ダニが媒介する病気について

最近、SFTS（重症熱性血小板減少症候群）、つつが虫病等が、公衆衛生学的に問題になっていますが、動物の感染症で、ダニが媒介する牛の原虫病で問題となるのは、古くから「ピロ」と呼ばれる**小型ピロプラズマ病**があります。

<原因>

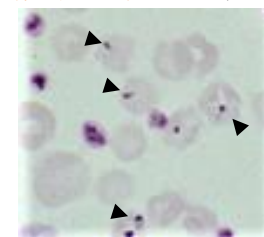
小型ピロプラズマ病は血液に寄生するピロプラズマ原虫（寄生虫）によって貧血を起こす病気です。日本ではタイレリア・オリエンタリスというピロプラズマ原虫が赤血球の中へ寄生します。



（穂先に留まり寄生の機会を伺うマダニ）

<感染>

感染する経路はいくつかありますが、放牧地でのマダニによる感染が一般的です。ピロプラズマ原虫をもったマダニが牛を吸血することでマダニの唾液から牛体内に侵入し、感染します。



（牛の赤血球内に見られるピロプラズマ原虫）

<診断>

血液検査を行い貧血の有無を調べ、顕微鏡で赤血球に寄生するピロプラズマ原虫を確認します。

<症状・対策>

主な症状は貧血と発熱です。貧血になると目や口、陰部の粘膜が白くなり、時間がたつと黄色く黄疸が進みます。

対策として、①バイチコールなど殺ダニ剤による対策は効果が出るまで数シーズンもかかることがあります。他にも耳標型の殺ダニ剤もありますが、継続して行うことがとても重要です。

② イノシシ、鹿など野生動物が入って来ないようにフェンスを設置、また雑木林の下草払い等放牧地の整備も対策として効果があるという報告もあります。

石原法による原虫寄生度の判定		
寄生度	原虫寄生赤血球数	原虫寄生率
++++	各視野に10個以上	≥4%
+++	各視野に1個以上	≥0.4%
++	各10視野に1個以上	≥0.04%
+	各10視野に~1個	~0.04%
-	各10視野に0個	-

※赤血球約250個を含む10視野を鏡検

（表紙写真：放牧地から見る夏の白ヶ岳）

近隣諸国の海外悪性感染症

病名	型	発生地（国）	畜種	発生年月日
高病原性 鳥インフルエンザ (HPAI)	H5N1	ロシア	野鳥	令和3年6月25日
	H5	ロシア	野鳥	令和3年7月4日
	H5N6	ベトナム	家禽	令和3年7月7日
	H5N8	ベトナム	家禽	令和3年7月7日
アフリカ豚熱 (ASF)		韓国	野生イノシシ	令和3年7月22日
		中国	豚	令和3年7月15日
		マレーシア	野生イノシシ	令和3年6月16日
		ロシア	野生イノシシ	令和3年7月21日
口蹄疫	O型	モンゴル	不明	令和3年6月30日

令和3年(2021年)7月31日現在